

地域防災・減災に関わる実践計画調書(記入例)

24. 防災は「やること」が目的ではなく、「何らかの防災・減災を実現すること」が目的となります。これを踏まえて、そのテーマに取り組む目的(どのような防災・減災に関わる活動を通じて、何を実現しますか)を、分かりやすく説明してください。もし、それがげんさい未来塾の在塾中(2026年3月まで)に実現できない場合は、2026年の3月までの到達目標についても合わせて説明して下さい。

私の地域では学校が避難所として指定されていますが、避難所の開設・運営マニュアルはまだありません。地域には高齢者も多く、このままでは、災害時に避難所が開設されても大変な事になってしまうのではと危惧しています。そのため、少しでも環境の良い避難所を実現するためのマニュアルを作ることと目的としています。
校区の避難所開設・運営マニュアルができれば、この目的を達成できたといえます。

25. げんさい未来塾の在塾期間(2026年3月まで)の間の、実践計画について(いつまでに、誰を対象として、どこで、どのようなことを、どの程度行うのか、など)を具体的に説明して下さい

5月～7月:既存の避難所開設マニュアル、避難所運営マニュアルを集める。また、被災地に行った経験のある人や、手記などから、避難所における問題、うまくいった事例などについて調べて、まとめる。

8月～10月:地域の防災訓練のメニューで、自分の地域で起きそうな問題、出来そうなうまくいった事例などを紹介する。また、各町内の防災担当を中心に、地域の避難所開設・運営マニュアルを考える有志の会の呼びかけを行うなど、一緒に考えるチームを作る。同時に、既存マニュアルを参考にしながらマニュアルの骨子を作る。

11月～1月:有志の会でマニュアルをまとめる。過去の事例でまとめた避難所の問題やうまくいった事例を取り込むようにする。事業所など連携が必要な所との調整を行う。

2月～3月:避難所開設・運営マニュアルを完成させる。1年では完全なものは難しいかも知れないので、その場合は、残された課題をまとめておく。翌年度の避難訓練で作成したマニュアルの検証が出来ればと思います。